



Vital Beats 設置方法 説明書

ご使用前に、この説明書をよくお読みになり、
正しくご使用ください。また、読み終わった後も
必ず保管してください。

2022年2月



セット内容 ※製品と写真は一部仕様が異なる場合があります。

- ① 通信機× 1 台



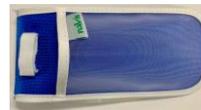
- ② シートセンサ× 1 枚（裏面に両面テープ貼付）



- ③ A C 電源× 1 台



- ④ 通信機専用ケース× 1 個



- ⑤ テーブルタップ× 1 本



- ⑥ 結束バンド× 1 本



- ⑦ ケーブル固定支持具× 4 個



- ⑧ マジックテープ× 1 本

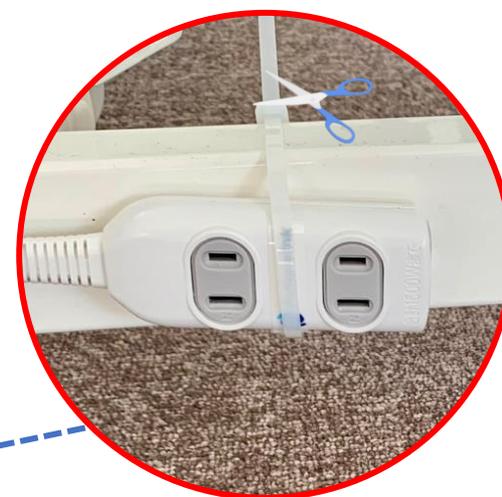




設置のしかた ※組み立てには、ニツパやはさみが必要です。ご準備ください。

1) テーブルタップをベッドフレームに取り付けます。

使用パーツ：⑤テーブルタップ×1 ⑥結束バンド（太）×1本



ベッドのフレームに⑤テーブルタップを、⑥結束バンドでしっかり固定してください。

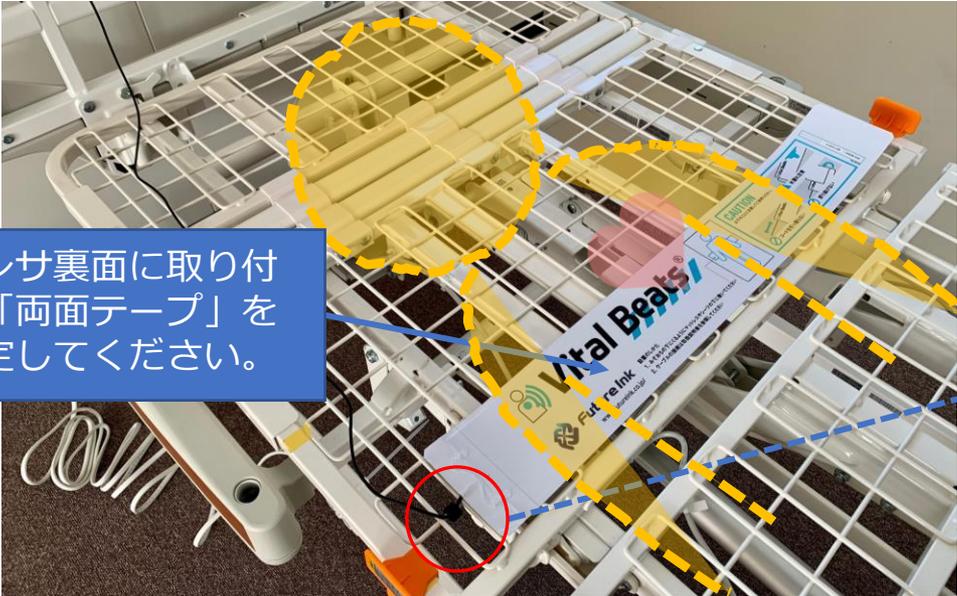
- ※ 利用者様がつまずいたり、歩行の妨げにならない様に取り付してください。事故の原因になります。
- ※ ゆるみやガタつきがないか確認してください。
- ※ 結束後、結束バンドの切り口で怪我をしないよう、ご注意ください。



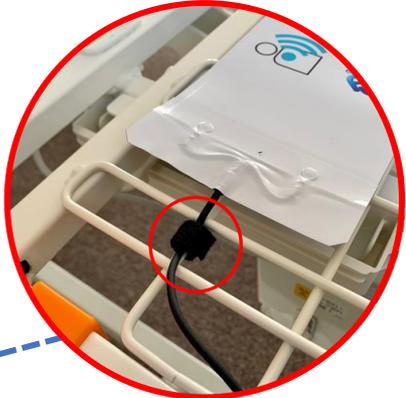
設置のしかた

2-1) シートセンサをベッドに取り付けます。

使用パーツ：②シートセンサ×1枚 ⑧マジックテープ×1本(縫製タイプ)



シートセンサ裏面に取り付けてある「両面テープ」を使用し固定してください。



⑧マジックテープを用いて、シートセンサに負荷がかからない様、ケーブルを真っ直ぐ、しっかり固定してください。

※ シートセンサは必ず利用者様の鳩尾(みぞおち)部分に位置するように設置してください。鳩尾部分から外れると、正しく計測出来ない場合があります。

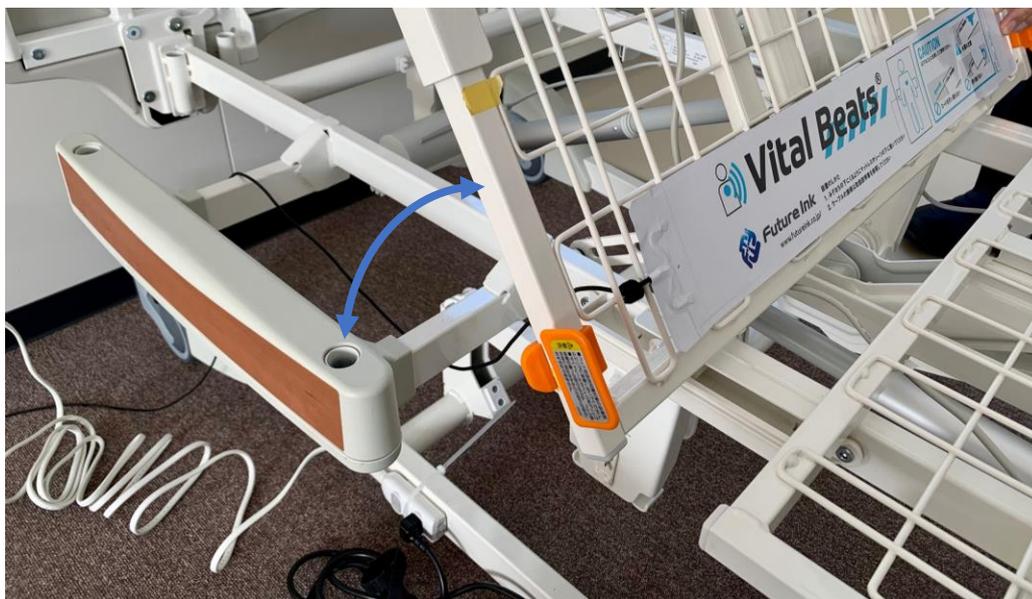
※ リクライニングやギャッチアップの可動部分には設置しないでください。破損の原因になります。

※ 別紙取扱い説明書もお読みください。



設置のしかた

2-2) シートセンサをベッドに取り付けます。



次の2-3)の作業でのケーブルの固定位置を参考に、リクライニングなどでのフレームの最大可動距離を考慮し、ケーブルのたるみを調整してください。

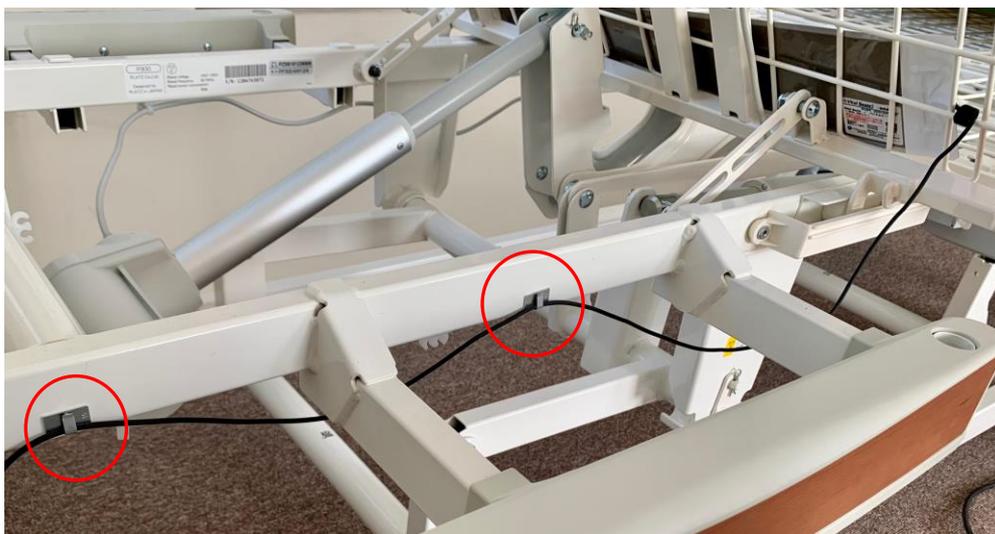
- ※ リクライニングなどでベッドフレームが可動する際に、ケーブルが引っ張られないよう、ケーブルのたるみを調整してください。断線の原因となります。
- ※ 可動時にフレームに巻き込まれない/挟みこまれない様にケーブルを誘導してください。断線の原因となります。
- ※ ベッドのタイプによっては、ギヤッチアップ、その他の可動範囲にも注意してください。
- ※ 別紙取扱い説明書もお読みください。



設置のしかた

2-3) シートセンサをベッドに取り付けます。

使用パーツ：⑦ケーブル固定支持具×2個



ケーブルは床に這わせず、⑦ケーブル固定支持具を用いてフレームに固定し、余剰部分は束ねて固定してください。

※ 次の2-4) の写真に示す①通信機の設置場所を考慮して、①通信機へのケーブル接続に無理に引っ張る力がかからないよう、ケーブルのたるみには余裕をもたせてください。破損の原因になります。

※ 別紙取扱い説明書もお読みください。



設置のしかた

2-4) シートセンサをベッドに取り付けます。

①通信機に接続できる位置にプラグが来ることを確認にしてください。



※写真は取付後イメージ

- ※ シートセンサは鳩尾部分に必ず設置してください。正しく計測出来ない場合があります。
- ※ リクライニング機能付きベッドの可動部には設置しないでください。破損の原因になります。
- ※ 別紙取扱い説明書もお読みください。



設置のしかた

3) A C電源をベッドに取り付けます。

使用パーツ：③ A C電源×1台 ⑦ケーブル固定支持具×2個



③ A C電源取付

⑤テーブルタップに
③ A C電源を差し込んでください

ケーブルは床に這わせず、
⑦ケーブル固定支持具を用いてフレームに固定し、余剰部分は束ねて固定してください。



※ 次の4-1) の写真に示す①通信機の設置場所を考慮して、①通信機への電源接続の際に無理に引っ張る力がかからないよう、ケーブルのたるみには余裕をもたせてください。破損の原因になります。

※ 別紙取扱い説明書もお読みください。



設置のしかた

4-1) 通信機をベッドに取り付けます。

使用パーツ：①通信機×1台 ④通信機専用ケース×1個



※写真は取付後イメージ

- ④通信機専用ケースに、
- ①通信機を入れヘッドボード側に取り付けてください。

2-4) で取り付けたシートセンサのプラグを通信機に差し込みます。

※ 壁などに通信機が当たらない場所に取り付けてください。

※ 通信機専用ケースの吸着部は、長期間つけたままにしておくと吸着力が弱くなる場合があります。



設置のしかた

4-2) 通信機をベッドに取り付けます。

※写真は取付後イメージ



③ A C電源のプラグを①通信機に差し込みます。

※マイクロUSBプラグ差込時には、プラグに向き(上下)があることに注意してください。

向きを間違えて差し込むと破損します。



※ マジックテープにてケーブルを固定してください。



設置のしかた

5) 完成



- ※ 使用する前に必ず点検をおこない、ゆるみやガタつきがないか確認してから使用してください。
- ※ お客様の利用しているWiFiが弱いと通信が繋がらない時があります。6) 通信不良 を参考に通信機の設置場所変更か、無線LANルータの設置場所の変更/追加、もしくは無線LAN中継機の使用などが対処方法です。



設置のしかた

6) 通信不良の場合

Vital BeatsのWifi接続またはデータ通信が途切れる場合は、施設のルータなどの通信設備からの電波強度が弱いこと、混信していることなどが考えられますので、以下のことをお試しください。

- ・電源を入切する。(=AC電源プラグの抜き差し)
Wifiに改めて接続をすることになりますので、改善される可能性があります。
- ・通信機の取付位置を
 - ①できるだけルータに近い位置に変更する。
ルータに近いほど電波強度は増しますので、電波を送受信しやすくなります。
(例えばベッド周りで出入口に近い側など)
 - ②床面から高い位置に変更する。
床面付近よりも高い位置にある方が、電波を送受信しやすくなります。
 - ③金属部分(金属製ベッドフレームなど)から離れた位置に変更する。
通信機が金属に接触していたり囲われていたりすると電波が弱くなる原因になります。
 - ④壁などの遮蔽物から離れた位置に移動する。
壁やボードなどの遮蔽物が通信機に近い位置にあると通信の混信原因になります。





ご使用前に

ご使用の前には、別紙取扱説明書を必ずよくお読みください。
注意文をお読みになり、記載内容をお守りください。